

決意から実行へ



町 勢 要 覧
MIYAGI OSATO

大 郷 町



発刊にあたって

私たちのふるさと大郷町は、町土の7割を農地と森林が占め、水田地帯には、春の田植え後の豊かな緑色から、秋の収穫期には黄金色のじゅうたんが夕焼けに映え、豊かな広がりを見せる田園風景を望むことができます。町の中心を東西に流れる吉田川には、冬の訪れとともに多くの白鳥が舞い降り、その旅立ちは春の息吹を感じさせてくれます。

また、大郷町は宮城県の真ん中「宮城のへそ」に位置することから、交通アクセスの利便性が良く、県内はもちろん県外に移動する場合にも便利な場所です。東北自動車道や三陸自動車道のインターチェンジに車で約10分、仙台空港にも約30分で行くことができます。

昭和29年に大郷村、昭和34年に大郷町となり、時代の訪れとともに50年後、100年後の未来のため、「夢創」の精神をもって「将来に幸福と希望が持てるまちづくり」に向け、「少年には夢を、青年には希望を、壮年には活力を、老年には生きがいを抱ける町」の創造・実践に取り組んでいます。先人が築き上げてきた礎に、私たちが新たな歴史を積み上げられるよう努めてまいります。

わが町の姿を紹介し、理解を深めていただくため「町勢要覧」を作成いたしましたので、ご覧いただくとともに、これからの大郷町のまちづくりにお力添えいただけたら幸いです。



む そう

令和6年7月 大郷町長 田 中 学

夢

おおさとの未来づくりは、世の中の若者から選ばれる多様性と開放的な環境を整え、従来存在しなかった、まったく新しい領域に新事業を生み出す

町民憲章（昭和 59 年 7 月 1 日制定）

わたくしたちは

- 思いやりとあたたかい心がはぐくむ
住みよい町をつくります。
- 働くことに喜びをもち活力ある豊かな
町をつくります。
- 情操と創造力にみちた教育と文化の町を
つくります。
- 伝統と自然を守り快適な環境と健康の
町をつくります。
- すすんできまりを守り互いに助けあう
和の町をつくります。



町章（昭和 42 年 4 月 24 日制定）

大郷を図案化し、円状の星は旧三カ村（大谷・粕川・大松沢）の合併を表すとともに、大郷の大を表形し、限りなき発展向上、隆昌を意味し、胴体の円は人の和、すなわち円満を、空間は住みよい「郷」を表現したものです。



【町花】 つつじ



【町木】 まつ



【町鳥】 かっこう

【むそろ】
決意から実行へ

創

Contents

施策の大綱	
産業振興	P 3
健康安心	P 5
教育充実	P 7
協働発展	P 9
大郷町の四季	
春	P 11
夏	P 12
秋	P 13
冬	P 14
大郷町マップ	P 15
おおさとの美味しいもの	P 17
行政機関等一覧	P 18
おおさとのあゆみ	P 19
伝統継承	P 23
おおさと昔かたり	P 24
データで見るおおさと	P 25



合併 70 周年・町制施行 65 周年

industry 産業

のさらなる振興で
活力のあるまち

豊かな自然環境や都市近郊
の立地条件を活かした新た
な産業を生み出します。



農作物の品質向上と農業の
効率化を推進します。



観光ルートを利用した農産物や農産加工
品の新たな販売・流通を確保します。

道の駅おおさとを中心に「大郷ブランド」の
確立と地場産品のPRを推進します。



商工会を中心とした、地元商店の活性化を図り、商業基盤の強化を図ります。



新たな雇用創出のため
企業誘致を推進します。

ドローンの利用を推進し、農業
や町民のドローン活用を支援し
ます。



支倉常長メモリアル
パークを中心とした、歴史的観光
資源を活用し、道の駅おおさとなど
と連携した観光産業を展開します。

relief

町民が

安心

して暮らせる健康なまち

健康で生きがいのある生涯を過ごせるよう、「栄養・運動・休養・検診」を中心に保健事業を推進します。



高齢者同士が交流できる環境をつくとともに、介護予防事業の充実に努めます。

住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域で支え合う町民意識の醸成に努めます。



培ってきた知識や技能を生かせる場をつくり、高齢者の社会参加と生きがいづくりに努めます。

慣れ親しんだ地域社会の中で、豊かな日常生活が送れるように支援体制の充実に努めます。





いつでも安心して医療が受けられるよう地域医療体制の充実に努めます。



子どもたちの居場所づくりや健全育成を図るための支援体制充実に努めます。



子育て世代の交流・相談の場を提供し子育て環境の充実に努めます。

子どもたちの健全育成や保護者同士のコミュニティの場となる拠点づくりを推進します。



education 教育

のさらなる充実で
心豊かなまち



主体的に学ぶ意欲を高めるため、地域や企業と連携しながら認定こども園から中学校まで系統的な教育活動に努めます。



田植えや稲刈りの体験を通し、生産者への感謝の気持ちや食への関心を引き出し、心身ともに健康な児童生徒の育成に努めます。



地場産品を使用した給食や調理実習を通し、ふるさとへの愛着や誇りをもった子どもたちの育成に努めます。





部活動を通し、思いやりの
気持ちを育むとともに、心
身ともに健康な生徒の育成
に努めます。

常に社会の中における人間の生き方を考えながら
学びに向かうことを促す教育を推進します。



学校・家庭・地域が連携し、人間性豊かな心を持
つ児童生徒の育成に努めます。

生涯を通じていつでも自由に学ぶことのできるまち
を築くため、家庭と地域の教育力向上に努めます。



collaborate

協働

のまちづくりで持続的に
発展するまち



総合的な消防・防災対策を図り、防災意識の向上や自主防災組織の活動支援と育成強化に努めます。



まちづくりへの参画を促すため、地域コミュニティの設立や活動を支援し、協働のまちづくりを推進します。



町民の利便性と福祉の向上を図るため、町内及び近隣自治体の公共交通機関、JR駅との接続を図り、利用者のニーズに対応した継続的かつ総合的な公共交通体系の構築を目指します。

周辺環境と調和した市街地形成を図るとともに、レジャー・レクリエーションのための公園の維持管理に努めます。



子どもを産み育てやすい環境づくりと移住・定住促進のため、給食費の無償化事業やスクールバス運行、高校卒業までの医療費の無償化などの支援体制の充実に努めます。

深刻な問題となっている空き家対策のため、空き地空き家バンク制度などを活用し、移住定住の促進を図ります。





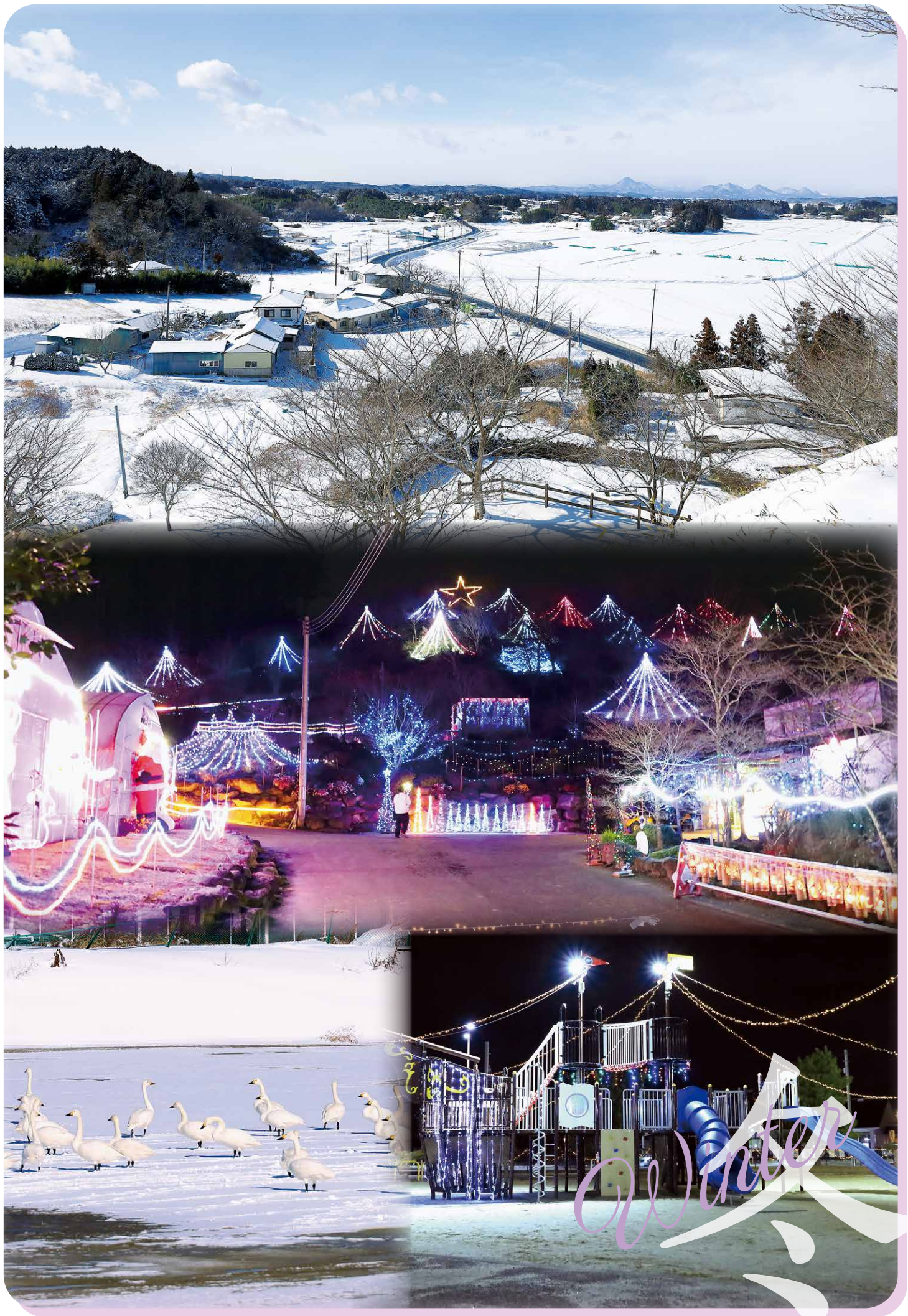
Spring
春



Summer
夏







大郷町マップ

大郷町は宮城県のほぼ中央に位置し、仙台から車で40分程度の都市近郊にあり、自然に恵まれた豊穡の地です。町の中央部を吉田川が流れ、優良な田園地帯が広がり、気候も温暖で過ごしやすく恵まれた環境にあります。夏にはホタルが舞い、白鳥が冬の訪れを知らせてくれます。



★ マークの4箇所は右記ページをご覧ください。



A 道の駅おおさと

入口の真っ赤なトラクターが目印。

店内は新鮮な野菜や特産品を目当てに平日でも多くのお客で賑わっています。

フードコートのメニューも充実しており、家族みんなで楽しめます。



B ゴー ゴー 郷郷ランド

長年大郷の子どもたちに親しまれてきた「やんちゃ丸つねなが」の老朽化により、リニューアルした郷郷ランドの大型遊具は「つねモロシッパわらすこ号」に生まれ変わり、次世代を担う子どもたちを見守ります。



C パストラル「縁の郷」

宿泊しながら農業体験ができたり、テレワーク施設としても利用できます。

レストランのランチメニューも人気があり、日帰りでも楽しめます。名物の「モロソ」を是非ご賞味ください。



モロソ＝
モロヘイヤクリームソーダ

D 支倉常長メモリアルパーク

伊達政宗の命を受け、サン・ファン・パウティスタ号でローマへと渡った支倉常長。

帰国後に常長が身を隠していたのが大郷町だと言われています。

公園内には常長の銅像が凛々しく鎮座。

奥には墓標もあり全国から足を運ぶ人も多いスポットです。



羽生はちみつ
マドレーヌ



郷のむすめ



モロゲリータ



おおさとの米



大郷の 美味しいもの

モロヘイヤ
クリームソーダ



みそカレー



町内産りんご



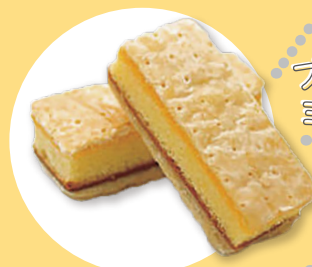
道の駅おおさとに並ぶ たくさんの特産品



道の駅おおさとには、大郷で採れた新鮮な野菜や近隣市町村の特産品、お酒などが数多く取り揃えられています。また、大郷の地場産品を使ったメニューや、町内の牧場で採れた牛乳を使用したソフトクリームなど、フードコートも充実しています。



井ヶ田製茶株式会社 との コラボ商品



プリン
ミルフィーユ

プリン
ダックワーズ



行政機関等一覧

行政機関

施設名	電話番号	住所
大郷町役場（代表）	022-359-3111	粕川字西長崎 5 番地の 8
総務課	022-359-5500	
財政課	022-359-5501	
まちづくり政策課	022-359-5537	
復興推進課	022-341-3061	
税務課	022-359-5505	
町民課	022-359-5504	
保健福祉課	022-359-5507	
農政商工課	022-359-5503	
地域整備課	022-359-5508	
上下水道課	022-359-5509	
会計課	022-359-5506	
学校教育課	022-359-5514	
議会事務局	022-359-5513	
農業委員会	022-359-5517	
町民課こども健康室（保健センター）	022-359-3030	粕川字東長崎 31 番地の 7
社会教育課（B&G 海洋センター）	022-359-2982	中村字屋舗 65 番地の 2
文化会館	022-359-3960	中村字屋舗 8 番地の 19
中央公民館	022-359-5515	中村字馬場沢 20 番地
学校給食センター	022-359-2552	中村字北浦 58 番地の 1
フラップ大郷 21	022-359-5326	
町民体育館	022-359-3129	中村字東浦 21 番地
ふれあいセンター 21	022-359-2678	味明字原下 15 番地
大松沢社会教育センター	022-359-2982	大松沢字旅籠屋 9 番地

教育機関

施設名	電話番号	住所
大郷中学校	022-359-2042	粕川字東長崎 3 番地
大郷小学校	022-359-2003	中村字屋敷前 98 番地
すくすくゆめの郷こども園	022-359-5655	粕川字新 30 番地
子育て支援センター	022-359-5755	粕川字新 30 番地
児童館	022-359-2167	中村字屋敷前 97 番地の 1





昭和29年7月 合併調印式大郷村発足

おおさと70年

70 years of history of Osato Town

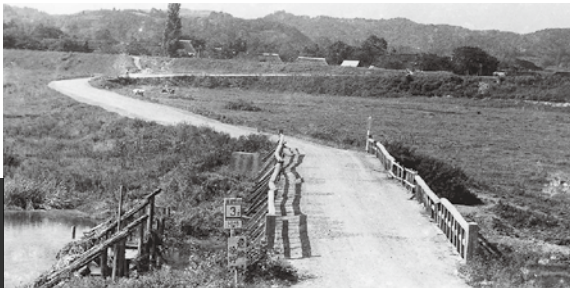
7月 大谷・粕川・大松沢村が合併し、大郷村発足

8月 大郷村長に櫻井美次氏就任

12月 明星中学校全焼

1956年 (昭和31年)

4月 黒川高校大松沢・大谷分校統合、大郷分校と改称



昭和37年
当時の
粕川大橋

1963年 (昭和38年)

4月 町営簡易水道一部で通水

7月 町無形文化財に羽生田植踊・土橋宮林神楽・民謡伝承者赤間森水氏を指定

1968年 (昭和43年)

4月 町内小学校に幼稚園を設置

1971年 (昭和46年)

3月 大郷町農村集団電話開通

1974年 (昭和49年)

4月 母子健康センター開所

1976年 (昭和51年)

4月 粕川大橋開通

10月 黒川消防署大郷出張所開所

1978年 (昭和53年)

6月 宮城県沖地震発生 (M7.4)

1980年 (昭和55年)

7月 大郷町史 (本史) 発刊



昭和60年
文化会館落成

1955年 (昭和30年)

5月 味明小学校独立開校式

1959年 (昭和34年)

4月 大郷町町制施行

1961年 (昭和36年)

9月 台風襲来、町内に
大被害

1962年 (昭和37年)

4月 学校給食一部開始

1967年 (昭和42年)

4月 町章制定

1970年 (昭和45年)

8月 大郷町長に武田壽雄氏就任

11月 大郷町旗を制定、櫻井美次氏を名誉町民に推戴

1973年 (昭和48年)

2月 公民館落成、のち中央公民館となる

1975年 (昭和50年)

1月 大松沢小学校火災、町内電話全自動式に

2月 町民体育館落成

1977年 (昭和52年)

3月 大松沢公民館落成

7月 町花、町木、町鳥を制定

1979年 (昭和54年)

5月 役場庁舎落成

1983年 (昭和58年)

6月 町立歯科診療所開所

1984年 (昭和59年)

2月 高齢者コミュニティセンター落成

7月 町民憲章制定

1985年 (昭和60年)

5月 B&G海洋センター落成

11月 文化会館落成



のあゆみ

1954
2024



昭和63年 総合運動場落成

8月 関東・東北地区で豪雨、町内に大被害（8・5豪雨）



昭和61年 8・5豪雨

1986年（昭和61年）

1988年（昭和63年）

4月 総合運動場落成

1990年（平成2年）

3月 公共下水道事業に着手

8月 大郷町長に鈴木直氏就任、大郷大橋開通

12月 武田壽雄氏を名誉町民に推戴



平成2年 大郷大橋開通

1991年（平成3年）

12月 中村バイパス開通

1992年（平成4年）

3月 築館公園開園

5月 粕川小学校体育館火災

7月 郷郷ランド開園

1994年（平成6年）

3月 新長期総合計画策定

7月 一部地区で公共下水道供用開始

1996年（平成8年）

7月 支倉常長メモリアルパーク開園

8月 ふれあいセンター 21落成

1998年（平成10年）

3月 町立歯科診療所・大松沢診療所閉所

5月 保健センター・学校給食センター落成

2000年（平成12年）

7月 大松沢出張所廃止、住民バス運行開始

10月 粕川地区農業集落排水事業供給開始

2002年（平成14年）

4月 パストラル緑の郷落成

2004年（平成16年）

4月 放課後児童クラブ開設

10月 場外馬券発売所「オフト大郷」オープン

合併50周年記念植樹

1993年（平成5年）

4月 大郷ふるさとプラザ落成

1995年（平成7年）

4月 黒川高校大郷分校が黒川高校大郷校となる

1997年（平成9年）

9月 大郷町長に田中学氏就任

1999年（平成11年）

3月 場外舟券売り場「ボートピア大郷」オープン

7月 フラップ大郷21落成

8月 合併45周年記念モニュメント「絆」建立
タイムカプセル埋設（2024年開封）

2001年（平成13年）

10月 みやぎ国体ハンドボール会場となる

2003年（平成15年）

4月 すくすくゆめの郷落成（統合幼稚園・保育園併設）

黒川消防署大郷出張所移転

7月 宮城県北部連続地震発生（M6.2）

2004年（平成16年）

11月 合併50周年記念櫻井美次翁頌徳碑移設

2006年（平成18年）

3月 第二次新長期総合計画を策定

2008年（平成20年）

3月 明星中学校・大松沢中学校閉校

4月 大郷中学校開校

6月 岩手・宮城内陸地震発生

7月 県消防操法大会において大郷消防団優勝

11月 大郷中学校校歌制定

2009年（平成21年）

3月 黒川高校大郷校閉校

9月 大郷町長に赤間正幸氏就任

2012年（平成24年）

3月 大谷小学校・味明小学校・粕川小学校・
大松沢小学校閉校

4月 大郷小学校開校・校歌制定

9月 放課後子ども教室「郷子舎（さとこや）」開設



平成24年 大郷小学校開校

2013年（平成25年）

10月 観光PRキャラクター『常のモロ』誕生

平成29年 児童館落成式



2005年（平成17年）

4月 全世帯へ防災無線設置



平成20年 大郷中学校開校

2011年（平成23年）

3月 東北地方太平洋沖地震
（東日本大震災）発生（M9.0）



平成23年 東北地方太平洋沖地震

2014年（平成26年）

4月 「常のモロ」を観光PR特命係長に任命

2015年（平成27年）

3月 総合計画を策定

9月 関東・東北豪雨発生

2016年（平成28年）

1月 大松沢社会教育センター落成

2017年（平成29年）

3月 住民バス利用者100万人達成

4月 児童館落成

9月 大郷町長に田中学氏就任



令和元年10月 台風19号による被害

2020年（令和2年）

- 4月 すくすくゆめの郷こども園開園
（乳幼児総合教育施設・大郷幼稚園・大郷保育園閉園）
- 4月 ふれあい号本格運行開始
- 5月 こどもの心のケアハウス「とらいあんぐる」開所

2022年（令和4年）

- 3月 中村地区「中村原団地」分譲開始
- 3月 つねモロシップわらすこ号完成
- 4月 大郷町が過疎地域に指定
- 6月 議員定数削減（14名→12名）
- 7月 記録的短時間豪雨、町内各地で被害
- 10月 粕川地区宅地かさ上げ宅地造成工事完成
- 12月 中村原地区災害公営住宅完成



令和4年10月 粕川地区宅地かさ上げ宅地造成工事完成

2024年（令和6年）

- 1月 大和警察署大郷駐在所開所

2018年（平成30年）

- 6月 鶉崎地区「恵の丘」分譲開始

2019年（平成31年）

- 3月 町営住宅「高崎団地」16戸完成
（令和元年）
- 5月 地方創生推進連携協議会設立
- 6月 合併65周年記念特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会開催
- 10月 台風19号襲来、吉田川堤防決壊など町内に大被害

2021年（令和3年）

- 1月 新型コロナウイルスワクチン接種対応チーム設置
- 9月 粕川地区復興まちづくり合同着工式
- 12月 中央公民館解体



令和4年3月 つねモロシップわらすこ号完成

2023年（令和5年）

- 7月 吉田川が特定都市河川に指定
- 8月 かわまちづくり計画登録



令和5年8月 かわまちづくり計画登録



羽生天神社



梅川八幡神社



神明社

伝統継承

伝統を未来へ残す

羽生田植踊



宮城黒川郡
大郷町
昭和三十
宮林

宮林神楽



おおさと昔かたり

私たちが生まれて今住んでいる大郷に、昔から伝わっている地域の昔ばなしを一冊の本にまとめたものです。「小学生でも読めるようにしよう。」「親子で読んで愛郷心を深めてほしい。」などの思いが込められて作成されました。



一部抜粋してあらすじをご紹介します！



板谷齊兵衛大蛇退治（東成田地区）

戦乱の世を逃れて現在の大谷にたどり着いた板谷齊兵衛とその一族。この地に根付いて農耕や狩猟の内に穏やかな生活を送っていたが、突然現れて自分たちを脅かす大蛇を菩薩様の加護を得て退治するおはなし。



三毛猫の恩返し（味明地区）

異常気象が続き明日食べるものにも事欠く厳しい時代に、檀家が少ないながらも自分に情けをかけてくれた後の味明「泉永寺」の住職と、学問を志しながらも望まない縁談のために世をはかなんで身投げしてしまった庄屋の娘に恩返しする三毛猫の精霊のおはなし。



鰻と雲南さま（石原地区）

農作業の最中に大きな鰻を見つけた石原の源太、その日は鰻料理に舌鼓を打ちますます元気に仕事に精を出していたが、なんとその鰻はカミナリの神様である「雲南明神」の鰻だった。たたりを恐れた源太は生涯に渡って雲南明神を神様としてあがめ、そのために子孫たちも鰻が食べられなくなったというおはなし。

【発行年月】平成 30 年 3 月発行 【発行者】大郷町社会教育課

収録内容

- ◆板谷齊兵衛（いたやさいべえ）大蛇退治 ◆三毛猫の恩返し ◆鰻（うなぎ）と雲南（うんなん）さま
 - ◆鏡ヶ池 ◆諏訪神社と二渡神社 ◆信太ヶ森（しのだがもり）の葛（くず）の葉
- など全 33 話収録されています。（A5 縦サイズ、本編 131 ページ）

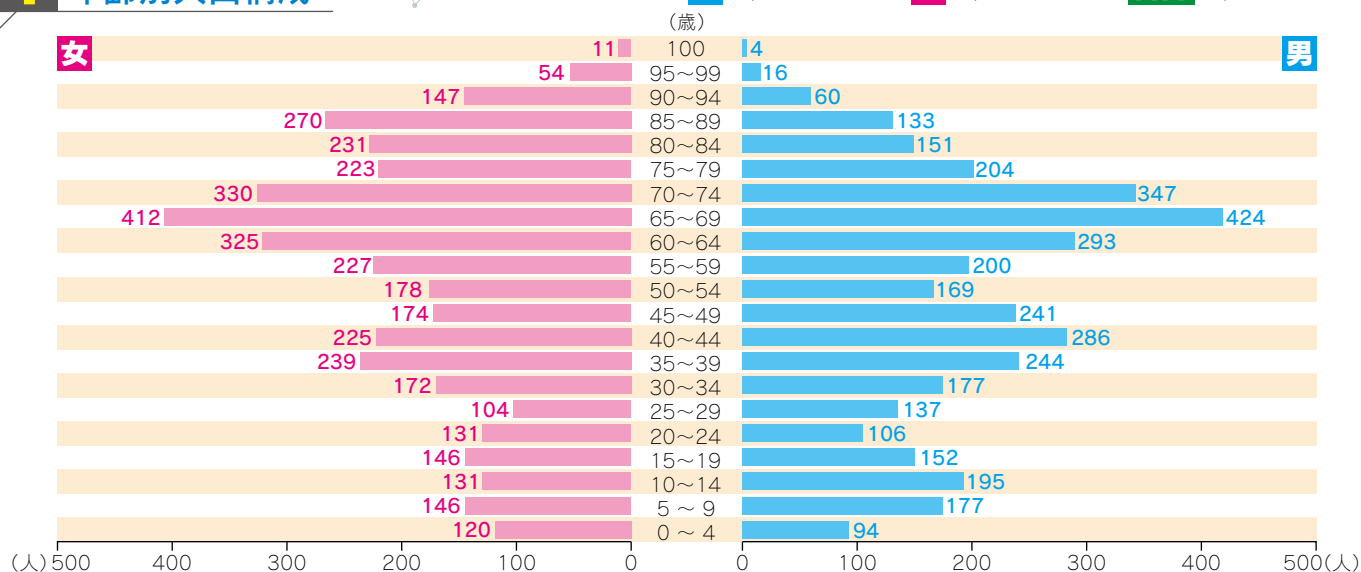
【販売価格】600 円（税込）

【購入・お問合せ】中央公民館 ☎022-359-5515

データで見るおおさと

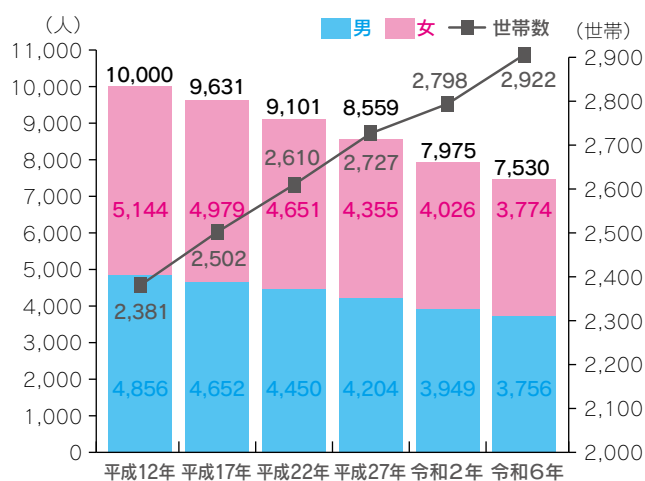
1 年齢別人口構成

男 3,814 人 女 3,999 人 合計 7,813 人



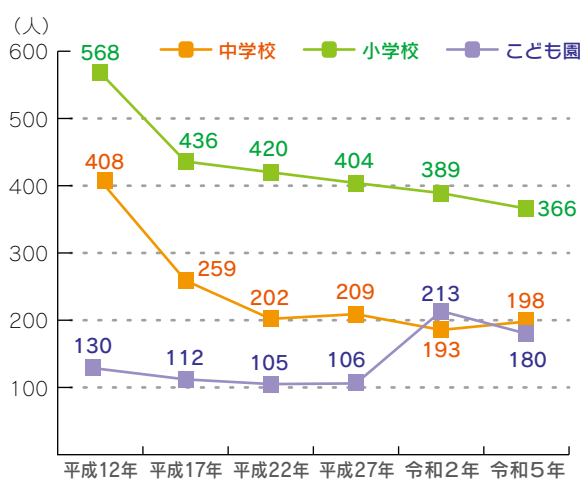
資料：令和2年国勢調査

2 人口・世帯数の推移



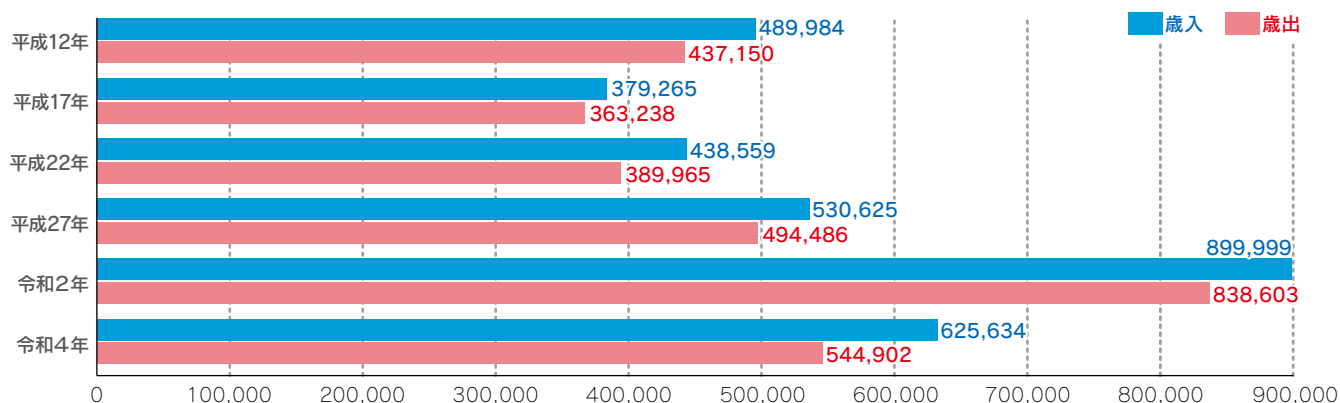
資料：住民基本台帳（各年3月31日現在）
※平成27年以降、外国人を含む

3 園児・児童・生徒数の推移

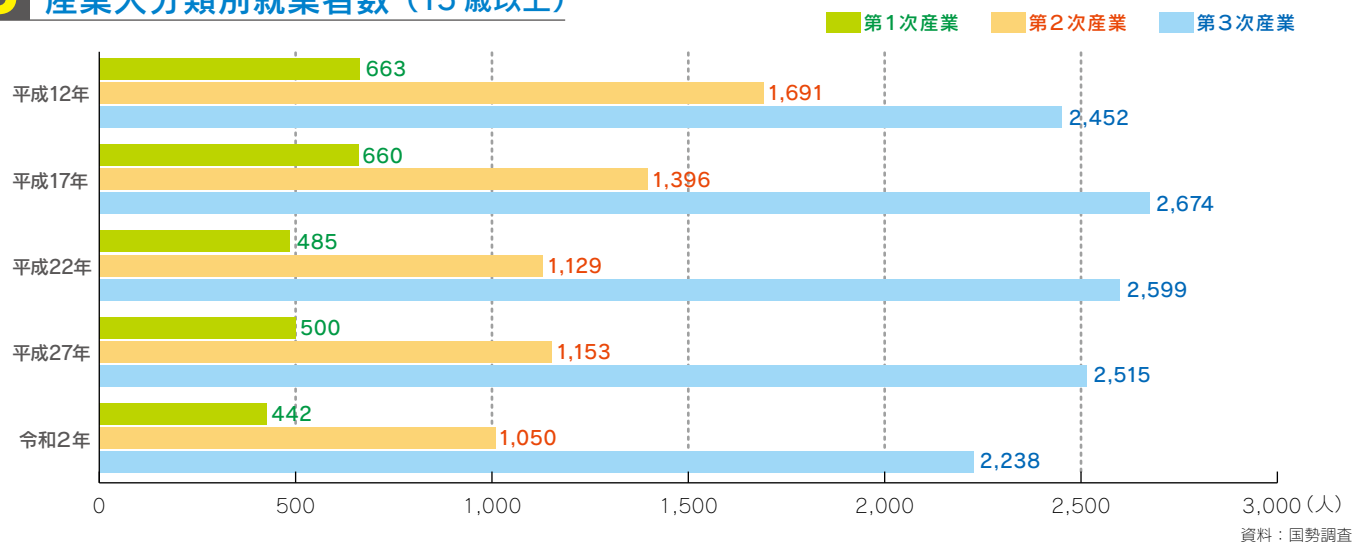


資料：学校基本調査
※平成27年までは幼稚園

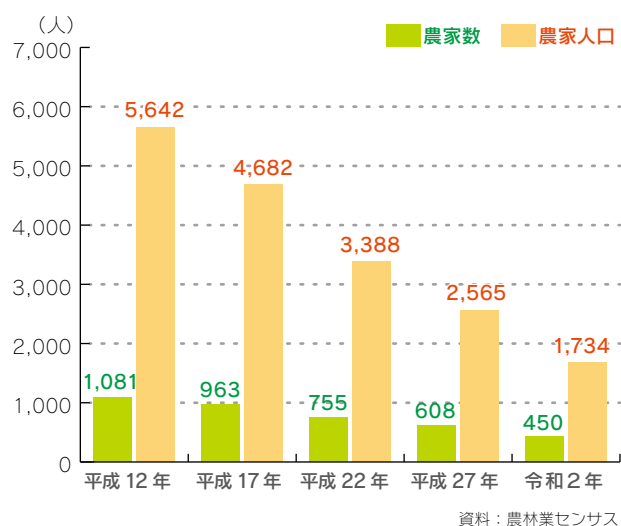
4 一般会計決算額の推移



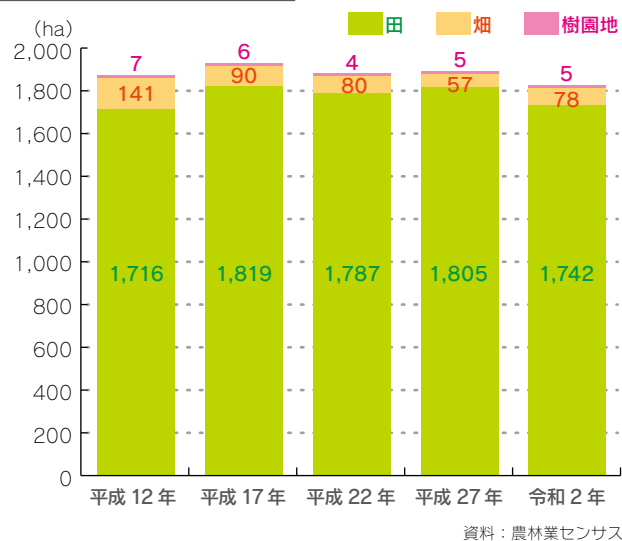
5 産業大分類別就業者数（15歳以上）



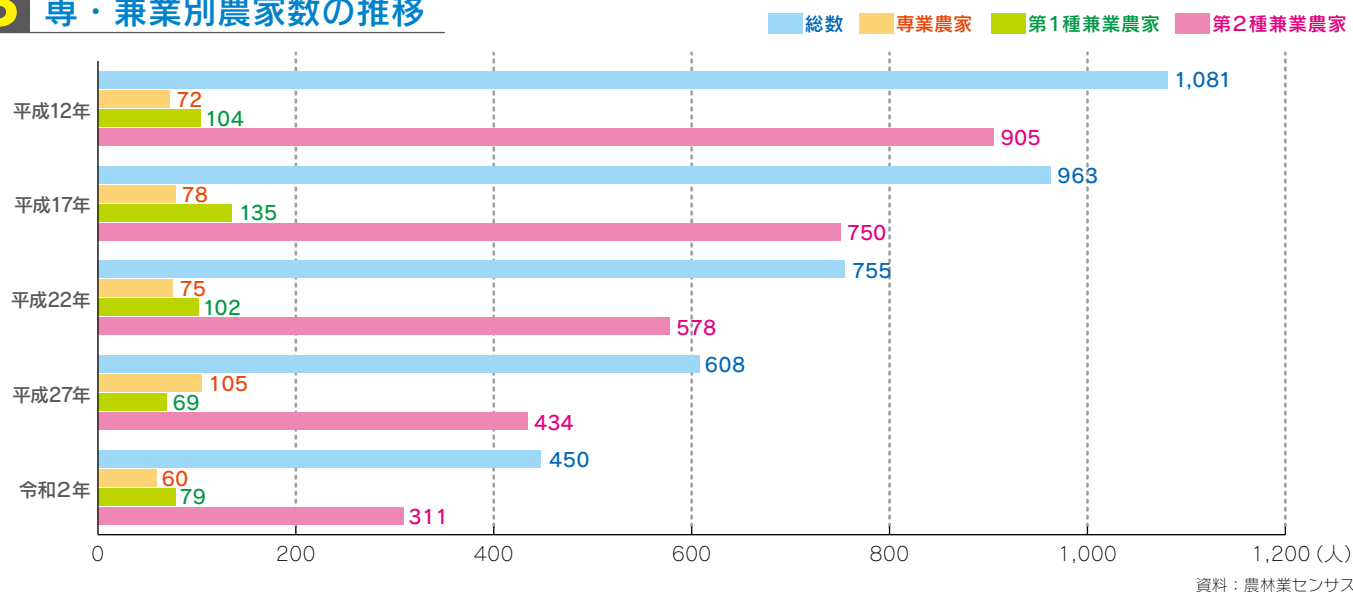
6 販売農家数の推移



7 耕地面積の推移



8 専・兼業別農家数の推移





常のモロ プロフィール

- 生まれた所／役場の地下室という噂
- 誕生日／不明
- 性別／男の子
- 性格／芯があり誠実、時々気まぐれ
- 口癖／語尾に「モロ」がつく
- 好きな食べ物／モロヘイヤon白飯
- 仕事／のどかで平和な大郷町をみんなに紹介している
- 特徴／立派なひげが自慢で、ゆらゆら揺れるちょんまげと前髪がチャームポイント。モロヘイヤの襟とおなかの十字架が目印！頭を上から見ると、髪の毛がハート型になっている!! (これを見ると幸せになれるとの噂)



町勢要覧

〒981-3592 宮城県黒川郡大郷町粕川字西長崎5番地の8 【TEL】 022-359-5537 【FAX】 022-359-3287
 【e-mail】 machidukuri@town.miyagi-osato.lg.jp <https://www.town.miyagi-osato.lg.jp/>

【発行】 宮城県大郷町 【発行日】 令和6年7月 【企画・編集】 まちづくり政策課 【制作・印刷】 有限会社中村印刷